

ハートフルなんぶ

2009. 12月号 Vol.134

長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292 - 0143

FAX (026) 292 - 0559

<http://library.nagano-ngn.ed.jp/>

年末年始休館のお知らせ

12月29日(火)から1月3日(日)まで休館です。

本の返却は返却ポストをご利用ください。

また、12月23日(水)は図書整理のため休館です。

新刊案内

- 『エレヌ・ベールの日記』 エレヌ・ベール／著 岩波書店
《289. 3へ》
- 『安全なお産、安心なお産』 河合蘭／著 岩波書店 《495カ》
- 『部屋のプチリフォーム』 オレンジページ 《597へ》
- 『ライトアップの庭』 ブティック社 《629ラ》
- 『小太郎の左腕』 和田竜／著 小学館 《Fワ》
- 『わたしの蜻蛉日記』 瀬戸内寂聴／著 集英社 《915. 33フ》

今月のテーマ「明治維新」

- 『ビジュアル版最後の藩主』 八幡和郎／監修
光文社 《210. 5ヒ》
- 『幕末維新の風刺画』 南和男／著
吉川弘文館 《210. 5ミ》
- 『京都時代MAP 幕末・維新編』 新創社／編 光村推古書院《216キ》
- 『将軍家・大名家お姫さまの幕末維新』 新人物往来社 《281シ》
- 『坂本龍馬の系譜』 土居晴夫／著 新人物往来社 《289. 1サ》
- 『幕末・明治の工芸』 村田理如／〔編〕著 淡交社 《750ハ》



高台の墓

「歴女」という言葉を聞くようになった。歴史、特に日本史好きな女性のことだが、「歴男」とは言わないので男性は皆歴史好きかと言えばそうでもなく、我が家の史学科出身男性を見ると首を傾げたくなる。クイズの答え、子供の宿題など活躍の機会はあるのに。便利そうな機能が期待ほど使えなかった家電品を眺めている気分である。自分の歴史音痴を棚に上げてのことだけれど。

歴女である友人は石田三成と木戸孝允のファンである。高校時代、修学旅行先の京都で、木戸の同志的な伴侶だった芸妓幾松ゆかりの旅館を共に訪ねた。高瀬川沿いに探し歩いたのが懐かしい。ちなみに旅館のある辺では佐久間象山が暗殺されたということだ。

旅館内部を特別に見せてもらい、彼女もさぞ満足かと思いきや、さらに東山の靈山護国神社まで行くと言う。維新の志士の墓参りに。神社でタクシーを降り彼女の後を歩く私は、おやつの葛きりがお預けになって機嫌が悪かった。けれど、墓を目指して境内を行くうちに何だか清々しい気分になってきた。進むにつれて視界が開け、京の街を見渡せる眺望があったから。かなり高く登ったのは記憶違いだろうか、木戸の墓は頂上にあっただと思う。

木戸孝允は明治時代を10年だけ生きて、45歳の若さで亡くなった。維新に係わり多くの者が命懸けで疾走した時代と、立ち止まり考え考え道を辿るようなこの現代とを、あの高台から見比べているかもしれない。

それにつけても歴史音痴をなんとかしたい。友人の薦める司馬遼太郎を読んでみようか。

(寄稿:とど)



本年も南部図書館をご利用いただき、ありがとうございました。

本年は音楽配信サービスを開始し、夏季と冬季に開館時間の延長も試行しました。

これからもサービス向上につとめてまいりますので、来年もよろしく願いいたします。

南部図書館カレンダー

1月号のテーマ：イギリス

2月号のテーマ：手作り

テーマにまつわる思い出やエピソードなどの投稿をお待ちしています。前月15日までに南部図書館窓口までお寄せ下さい。

は休館日です。

開館時間 10:00~18:00

2009	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
12月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

2010	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
1月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

12月23日は図書整理のため休館です。年末年始休館12月29日~1月3日